

令和3年度（2021）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹デザインカレッジ

# 学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹デザインカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、報告致します。

令和3年10月20日

学校法人穴吹学園  
専門学校穴吹デザインカレッジ  
学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹デザインカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹デザインカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会

(委員)

中村 賢治 香川県建築士事務所協会 会長  
織野 浩司 あなぶきホーム株式会社 執行役員 建設統括部部長  
森内 周公 株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作事業部 穴吹デザインプラス 所長  
前田 政裕 株式会社ウィザード 代表取締役社長  
的井 博嗣 株式会社講談社 ヤングマガジン編集部 (欠席)  
森川 崇 元香川県立高等学校 校長  
塩崎 潤 香川県立高松工芸高等学校 校長  
岩崎 浩明 香川県立善通寺第一高等学校 校長  
松下 由美 穴吹デザインカレッジ 保護者会支部長  
田村 享昭 穴吹デザインカレッジ 卒業生 (欠席)

(学校教職員)

後藤 良二 穴吹デザインカレッジ 校長  
谷中 義昌 穴吹デザインカレッジ 副校長  
植村 祐介 穴吹デザインカレッジ 教務部 部長  
中田 忠志 穴吹デザインカレッジ 教務部 主任  
眞鍋 量臣 穴吹デザインカレッジ 教務部

## 3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和3年10月20日(水) 15:00～16:50

開催場所 学校法人穴吹学園 穴吹デザインカレッジ 6階 オープンスペース

#### 4. 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」「目的」及び「令和2年度の目標と計画」について説明し、各自己評価項目について「評価結果（総括）」「取組状況とその分析」及び「今後の改善方策等」について報告がなされた。

書式は香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施し、各評価項目については、「A」十分である・「B」おおむね十分である・「C」やや不十分である・「D」不十分である の4段階にて評価している。

さらに「令和2年度事業報告」「令和3年度目標及び進捗状況報告」「本校の新型コロナウイルス感染防止対策」「令和2年度保護者アンケート結果報告」の内容について報告がなされた。

#### 5. 意見交換、質疑応答

○地域貢献、就職実績を見ると知っている企業が多くあり、地元根付く人材育成をされていることがよくわかる。今後もしっかり指導していただきたい。

○休学者の数が毎年少ないのに今年多いのはなぜか？

⇒入学後にオンライン授業や分散登校を実施し、友人を作りづらかったことも考えられる。しかし、教員の力不足は否めない。

○アンケートの実施時期はいつなのか？

⇒学生の卒業前に回収している。

●弊社でもお客様のアンケートを次に活かすため100%回収を目標に努めている。そのために手紙を出し工夫して回収率を上げるように努めている。ぜひ参考にしてほしい。

○アンケートについては学科ごとの回答の内訳はあるのか？

⇒無記名による全体での回答になっている。

○コロナ禍における努力が手に取るようにわかった。また自己評価、保護者アンケートについての課題における回復を目指してほしい。また、アンケートにおいて「〇〇を〇〇したから伸びた」というような部分はあるのか？

⇒そこまでは出来ていない。今後はアンケート結果をもとに改めていきたいと思う。

○就職率を見るとコロナの影響が出ているのがわかる。弊社営業はリモートワークが広まり、お客様に顔が売れないので営業マンにとっては大変不利であったが、学校も同じような影響はあったか？

⇒オンライン授業の良さはあるものの、やはり対面授業が一番だと思う。学生の中には対面が苦手な者や、さらに「課題は家で制作しても良いのではないか」という考えの者もいるが、学生同士の交流や人間力を助成していく場はやはり学校であると考えている。ただコロナ禍だからこそ学べたこともあり、オンラインでの講演や講評会等有効活用を検討していく。

○去年のデータと比べてみたところ内容はほぼ同様だった。評価が×のままの項目もあるが、コロナ禍においては仕方がない。ただ「3-12：地域の特性を活かした教育を行っていますか」が昨年×から○に

なったように努力が実ったものもある。今後も地域への貢献度をアピールしてもらいたい。

○保護者のアンケートの回収率が昨年91%から57%に下がったことにおいては何か工夫をして改善してもらいたい。

○パワーポイント等での説明で卒業後の生徒の活躍もわかることができた。コロナにおいてコンペ等実施されなかったものも多かったと感じられた。そんな中でも得られたものも多かったのではないか。2年生はこのような状況の中で卒業するのだが、心の財産を意識させるには、どうすればよいのかを考えさせられた。

○卒業時アンケート「教育の質が高い」の結果が、昨年79.3%が50.9%と下がっているので頑張ってほしい。また「5-12社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか」において、このような社会人のニーズ、要望はあるのか？職業に向けての実力を身に付けるのが専門の学校なのでこの項目は必要なのか？

⇒この項目は香川県と香川県専修学校各種学校連合会との話し合いで出来たものであり、各校において、各項目の必要性については今後見直していくことになると思われる。

○学生にとってはコンペ等外部の意見や評価が一番なので今後も頑張ってほしい。

○コロナ禍の状況においてリモートで友人と繋がることができたのは良かった。(高校生の息子は学校へ行くこともできなかった)先生方は大変頑張ってくれたと思う。このような時代の流れの中で我慢する、逆境にも負けないということを学べることが出来た。本当に先生方には感謝しかない。

⇒クラス運営はオンラインではなかなかできない。またオンライン後に登校してきた学生の授業に対するやる気はとて高く、そのような姿を見るとやはり学生には対面授業で登校をしてもらいたいと感じた。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上